

# 霧島山(新燃岳)の噴火による被害状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成23年1月28日  
21時00分現在  
内閣府

## 1. 火山活動の状況(気象庁情報:1月28日現在)

### (1)これまでの状況

新燃岳では昨年3月から、ごく小規模な噴火が時々発生するなど、火山活動が活発化したため、噴火警戒レベル2(火口周辺規制)の火口周辺警報を発表してきた。今年に入り、1月19日に小規模な噴火が発生したのに続き、1月26日7時31分に発生したごく小規模な噴火は、その後継続し、14時49分頃からは火山性微動の振幅が大きくなり中規模な噴火となった。更に活動が活発になる可能性があることから、26日18時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げた。

1月27日15時41分に爆発的な中規模噴火が、28日12時47分には爆発的噴火が発生した。

### (2)今後の見通し

新燃岳では、今後、更に活動が活発になる可能性がある。火口から2km程度の範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石等のおそれがある。また、降雨時には泥流や土石流に注意が必要である。

## 2. 人的・住家被害の状況(消防庁調べ:1月28日 19:30現在)

### (1)人的被害

重傷1名

宮崎県都城市:火山灰の除去作業中にはしごから転落したもの(1月27日)

### (2)住家被害

被害情報なし

## 3. 避難の状況

### (1)避難指示・勧告(消防庁調べ:1月28日 19:30現在)

なし

### (3)自主避難(消防庁調べ:1月28日 19:30現在)

宮崎県高原町 3世帯3名

## 4. その他被害の状況

### (1)道路(国土交通省調べ:1月28日 10:00現在)

降灰による通行止め

・九州自動車道(小林IC~田野IC)、県管理国道1箇所、県管理道路5箇所

## (2)交通機関

○鉄道(国土交通省調べ:1月28日10:00現在)

降灰による運転見合わせ

・JR九州 吉都線(都城～吉松)

## (3)文教施設等(文部科学省調べ:1月28日 14:00現在)

区 分	被災箇所数
国立学校施設	1
公立学校施設	17
計	18

・主な被害状況:屋外運動場などへの降灰

## (4)農林水産関係(農林水産省調べ:1月28日 12:00現在)

○宮崎県都城市、日南市、串間市、三股町において、

### ① 農作物(7,082ha)

・露地野菜(加工用ほうれんそう、キャベツ等)、飼料作物(イタリアンライグラス等)など  
の一部が降灰により収穫不能

・収穫可能な場合でも出荷には洗浄が必要

### ② 農業用施設(187ha)

・施設園芸用のビニールハウスが、降灰により光線透過率が低下し、ハウス内作物の生  
育への影響が懸念

・降灰により自動開閉装置の開閉が困難となり、温度調節が不能  
等の状況が報告されている。

○鹿児島県においては、現在、被害状況について調査中である。

注)被害等については、引き続き調査中。

## (5)その他

・空港関係 宮崎空港火山灰除去のため9時55分から滑走路等閉鎖(除去作業中)

(国土交通省調べ:1月28日10:00現在)

## 5. 政府の主な対応

### (1)関係省庁連絡会議の開催

第1回関係省庁連絡会議を東内閣府副大臣出席の下に開催し、政府として、宮崎県・鹿児島県・被災自治体と一体となって、対応に万全を期するため以下の事項を確認した。(1月28日16:30)

- 1 的確な観測監視体制のもと、火山活動の推移を十分に注視し、万全の警戒体制を確立するとともに、関係機関の情報共有を図ること
- 2 現地調査を含め、引き続き早急な被害状況の把握を行い、状況に応じた迅速かつ的確な対応を図ること

## (2)各府省庁の対応

### ①内閣府の対応

- ・情報連絡室を設置(1月26日 18:00)

### ②国土交通省の対応

- ・国土交通本省注意体制
- ・散水車4台、路面清掃車1台を2市に貸出(1月26日～)
- ・宮崎県庁にリエゾン(現地連絡員)2名を派遣(鳥インフルエンザ対策支援と兼務)(1月23日～)

### ③気象庁の対応

- ・気象庁本庁警戒体制

### ④国土地理院の対応

- ・国土地理院注意体制(1月26日 18:00)
- ・霧島山及び周辺地域の地形図を電子データで関係機関に提供
- ・霧島山(新燃岳)周辺に設置している電子基準点(3点)の観測データを解析・公開